

## 第4回江南市行政事業検討委員会議事録

日 時 平成28年8月2日(火) 午後2時00分～午後3時00分  
場 所 防災センター 2階 研修室1  
出席者 横山幸司、武長脩行、加藤浩明、村瀬真奈美、堀部直美、長谷川清  
傍聴者数 0名  
資 料 資料1 行政事業レビューの進行方法について  
資料2 事業評価シート  
資料3 事前質問票  
資料4 行政事業レビュー当日の留意事項について  
参考資料1 平成28年度 江南市行政事業レビュー配布資料  
参考資料2 江南市行政事業レビュー リハーサル実施概要

・開会にあたり、委員長よりあいさつ。

### 1 議題 行政事業レビュー実施方法について

#### (1) 進行方法の確認

- ・資料1～3に基づき、行政事業レビューの進行方法について、事務局より説明があった。
- ・質疑応答は以下のとおり。

委 員 5名の判定員に対して、判定が同票になるとはどのような場合を想定しているのか。

事 務 局 例えば、判定が2票対2票対1票のような場合を想定している。その場合はコーディネーターが最終的に判定する。

委 員 判定員は事業評価シートを質疑応答の間に記入するのか。

事 務 局 事業評価シートは質疑応答の時間に記入していただくが、判定員の方々には、判定札により判定をしていただくため、午前の部、午後の部が終わった段階で事務局が回収する予定である。

なお、市民評価員の評価は、コーディネーターより結果を報告するため、質疑応答の時間内に事業評価シートを記入し、その都度、事務局が回収し、集計する必要がある。

委 員 市民評価員の評価結果と判定員の判定が全く異なっても良いのか。

委 員 長 大きくかけ離れることは無いと思われるが、市民評価員の評価結果と判定員の判

定は異なることは有り得るので構わない。

委員 質疑は前半に市民評価員、後半に判定員と明確に分けるのか。

委員 長 原則は、質疑応答時間の前半に市民評価員、後半に判定員に質疑していただく予定だが臨機応変に対応していく。

委員 質問の仕方として、ルールを決めているのか。一人が一度に複数の質問をすることや再質問をすることは可能なのか。

事務局 市民評価員については、多くの方に質問をしていただきたいため、一問一答を原則とし、再質問は無しと考えている。

委員 長 事業評価シートの評価・判定基準に「事業規模や人員などを増加して実施するもの」とあるが、「増加」ではなく「拡大」の方が表現として適切ではないか。

事務局 表現を「拡大」に修正する。

## (2) 当日の留意事項

---

- ・資料4に基づき、行政事業レビュー当日の留意事項について事務局より説明があった。

## 2 その他

---

事務局より、今後のスケジュール等について説明があった。

- ・参考資料1に基づき、行政事業レビュー当日の配布資料（案）の内容について説明し、意見などがあれば8月12日（金）までに事務局へ連絡を依頼。
- ・参考資料2に基づき、行政事業リハーサルを8月8日（月）に市役所3階第2委員会室で実施する予定。
- ・次回の委員会は9月26日（月）午後2時から市役所2階大会議室で開催する予定。